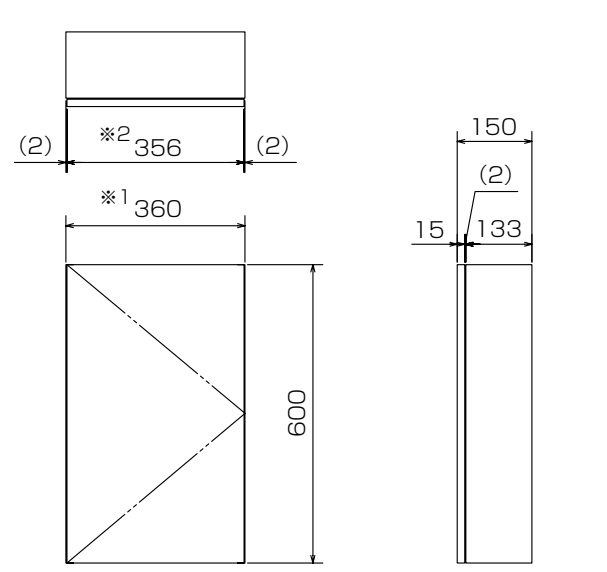
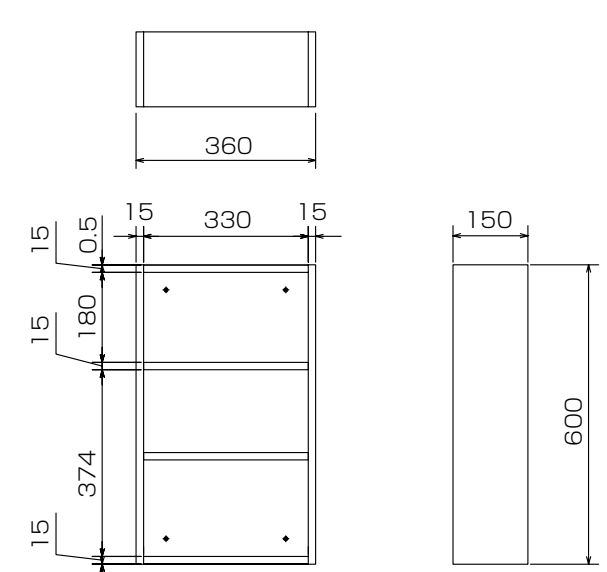
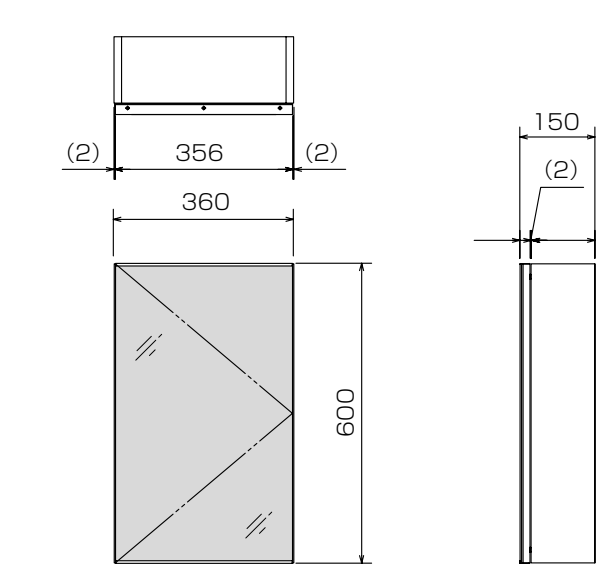


扉付ミドルキャビネット
オープンミドルキャビネット
ミラーキャビネット

TSF-107、TSF-109
TSF-108
TSF-125

商品の機能が100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分ご理解のうえ
正しく施工してください。

●標準施工図・各部の名称・部品の確認

<p>【扉付ミドルキャビネット】</p>  <p>※1 寸法はTSF-107の場合。TSF-109の場合は300となります。 ※2 寸法はTSF-107の場合。TSF-109の場合は296となります。</p> <p>(各部の名称・部品の確認)</p> <p>キャビネット固定ねじセット</p> <p>化粧キャップ コーススレッド (φ4.5×45)</p> <p>キャビネット</p> <p>可動棚 棚ダボ</p> <p>扉</p> <p>施工説明書 取扱説明書</p>	<p>【オープンミドルキャビネット】</p>  <p>(各部の名称・部品の確認)</p> <p>キャビネット固定ねじセット</p> <p>化粧シール サラタッピンねじ (φ4×50)</p> <p>キャビネット</p> <p>可動棚 棚ダボ</p> <p>施工説明書 取扱説明書</p>	<p>【ミラーキャビネット】</p>  <p>(各部の名称・部品の確認)</p> <p>キャビネット固定ねじセット</p> <p>化粧キャップ コーススレッド (φ4.5×45)</p> <p>キャビネット</p> <p>鏡付扉</p> <p>施工説明書 取扱説明書</p>
---	--	---

●安全上の注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さままで保管いただくように依頼してください。

用語および記号の説明

警告 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ …… 「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

🚫 …… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

👉 …… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

警告

ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。 🚫

取付けがゆるんだ状態での使用はしないでください。施工完了後は各部にガタツキのないことを確認してください。
※物品類の落下、部材の外れによりケガをする恐れがあります。 🚫

扉の取付は、キャビネットを壁固定した後に行ってください。
※本体に扉をつけた状態での施工は、スライド蝶番に過大な負荷がかかる原因となり、扉脱落の恐れがあります。 🚫

スライド蝶番の調整のときは、Aねじ、Bねじ、Cねじ以外のねじを絶対にゆるめないでください。
※扉が落下し、ケガをする恐れがあります。 🚫

木製品のため、浴室および湿気の多い場所の設置は避けてください。 🚫

注意

必ず施工説明書の指示にしたがって施工してください。
※誤った施工方法でされた場合、器具の破損やケガの恐れがあります。 🚫

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※破損しケガをする恐れがあります。 🚫

取り付けは施工店が行ってください。
※取付けが不安定となり、ケガをする恐れがあります。 🚫

下穴は必ずあけてください。またねじは強く締め付けしないでください。キャビネットにねじが陥没してガタツキの原因になったり、キャビネットが変形して、扉が動きにくくなる原因になります。 🚫

施工完了後は、扉の傾き、ガタツキ、蝶番のゆるみがないことを確認してください。またスライド蝶番の調節後は必ず、Aねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。
(扉付・ミラーキャビネットの場合)
※締め付けが不足しますと、蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。 🚫

裏面に続く

扉はキャビネットに確実に取り付けてください。 (扉付・ミラーキャビネットの場合) ※取付後に扉のズレ、傾きがあるときは蝶番を調節してください。(蝶番の調節は「●扉の調節」の項をご覧ください。)	指示実行
棚ダボはキャビネットに完全に差し込み棚板をセットし、棚板が確実にハマっていることを確認してください。(オープン・扉付キャビネットの場合) ※棚板が落下してケガをする恐れがあります。	指示実行
キャビネットを取り出すとき、扉を直接もって持ち上げないでください。扉が動いて指をつめたり、スライド金具の変形等、不具合につながる恐れがあります。	禁止
棚に物品を過剰にのせたりしないでください。 ※破損や落下によるケガの恐れがあります。(許容積載量は、一つの棚あたり1.5Kg以下です。)	禁止
商品にもたれたり、たたいたり、強い衝撃をあたえたり、固いものをぶつかけたり、冷水・熱湯などをかけたりしないでください。 ※破損やケガをする恐れがあります。	禁止
直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。 ※変色や変形の恐れがあります。	禁止
酸・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、商品を拭かないでください。またこれらの溶剤や油類を流さないでください。 ※変色や変形の恐れがあります。(溶剤がつくと跡が残ることがあります。)	禁止

●取付前の注意

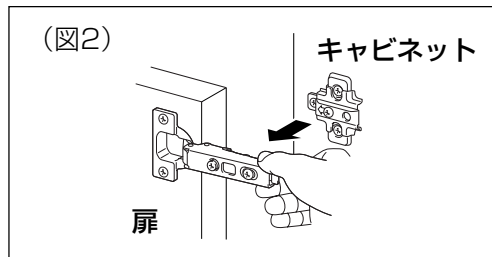
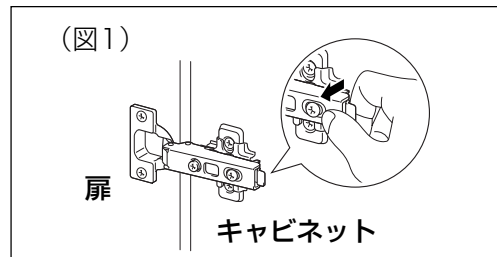
- 受取った商品について品番・数量を確認してください。
- 施工図どおりできるか、以下の項目について確認してください。
※該当しない場合は商品が取り付けられない恐れがありますので修正を依頼してください。
 - 設置する壁面に著しい凹凸や不陸がないこと。
 - 設置する壁面の壁仕上がりできていること。
 - キャビネット取付部に厚さ30mm以上の下地補強が入っていること。

●施工方法

1. 扉の取外し (扉付・ミラーキャビネットの場合)

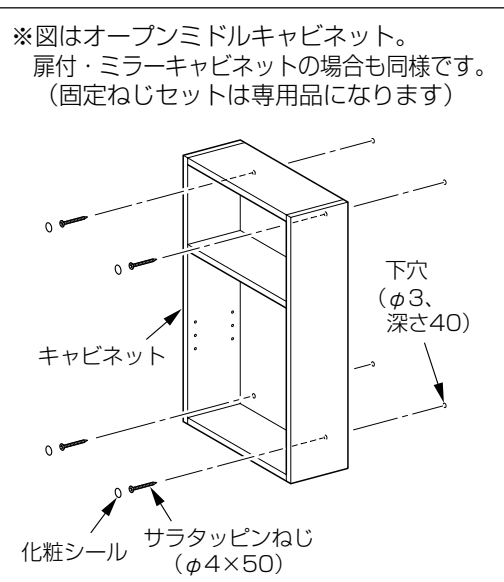
キャビネットに入っているものを全て取り出し、扉を外します。

- 蝶番の先端のつまみを矢印の方向に引き上げ、ロックを外します。(図1)
- 蝶番を矢印の方向に引っ掛けて外します。(図2)



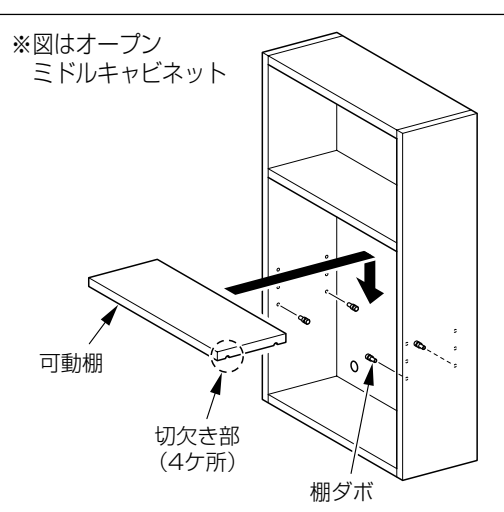
2. キャビネットの取付け

- 現物合わせでキャビネット固定ねじ位置 (収納棚のφ4.5貫通穴の位置) をけがき、φ3mm、深さ40mmの下穴をあけます。
※下穴は必ずあけてください。
- サラタッピンねじ (φ4×50) で固定した後、ねじ頭に化粧シールを貼ります。
※木ねじを強く締めすぎないでください。収納棚本体が変形することがあります。
※インパクトドライバーは使用しないでください。収納棚本体が破損する恐れがあります。



3. 可動棚の取付け (扉付・オープンミドルキャビネットの場合)

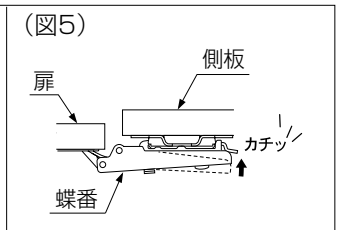
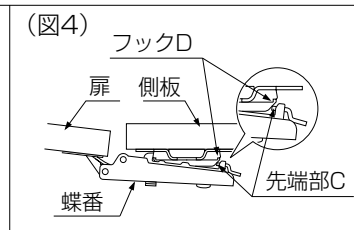
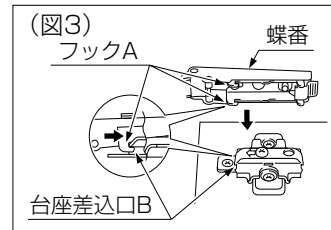
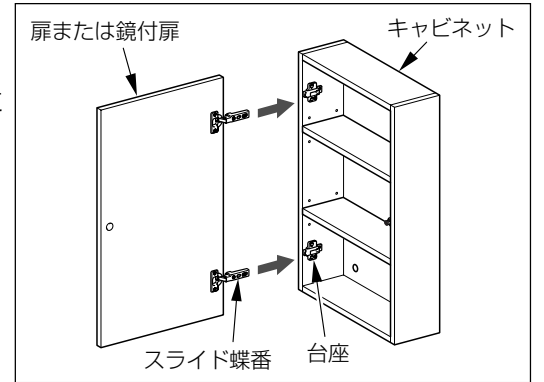
- 棚ダボをキャビネットに取り付けます。
※棚ダボはキャビネットに完全に差し込んでください。
- 可動棚をセットします。
※可動棚のダボ用切欠き部を棚ダボに確実にハマ込んでください。



4. 扉の取付け (扉付・ミラーキャビネットの場合)

扉を以下手順でキャビネットに取り付けます。

- 蝶番のフックAを台座差込口Bに引っかけます。(図3)
- 蝶番の先端部CのツメをフックDに合わせます。(図4)
- 蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。(図5)



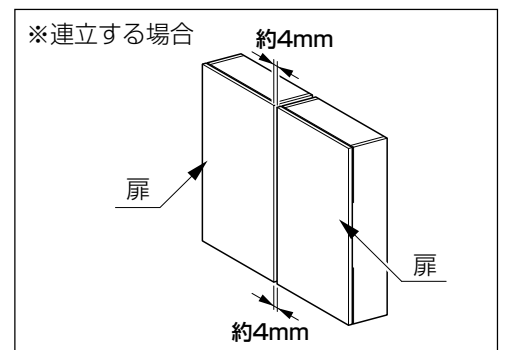
- ※扉の蝶番がキャビネットに確実に結合していることを確認してください。結合が不十分だと扉の落下によりケガをする恐れがあります。
- ※取付後に扉のズレ、傾きがあるときは蝶番を調節してください。(蝶番の調節は「●扉の調節」の項をご覧ください。)

●扉の調節 (扉付・ミラーキャビネットの場合)

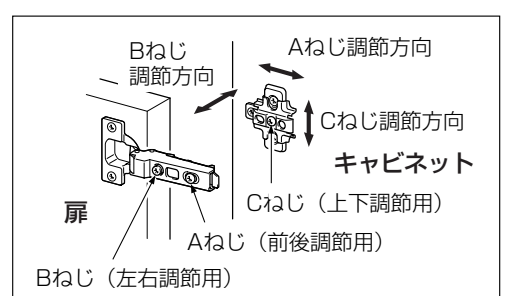
●スライド蝶番の調節

扉が水平でないときは、扉の調節を行ってください。

- ※アッパーキャビネットを連立して設置する場合は、扉と扉のすき間が約4mmで均等になるように調節してください。



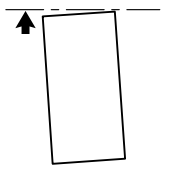
- 調節する際はプラスドライバーをご使用ください。
- Aねじ、Bねじ、Cねじ以外のねじは絶対にゆるめないでください。
- 調節後は必ずAねじ、Cねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締め付けが不足すると、蝶番がゆるみ扉の外れ落下の原因になります。



【調節方法】

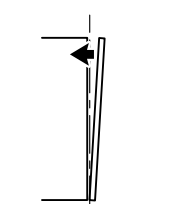
1. 扉の先端を上にするとき

- 扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。または、扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。
- 扉を締めて確認します。
- 正しい位置になるまで(1)、(2)を繰り返します。



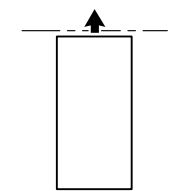
2. 扉と側板のすき間が上下違うとき

- 扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。
- 正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。



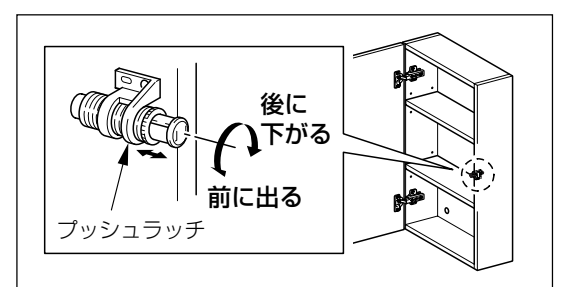
3. 扉の高さが上下にずれているとき

- 扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
- 正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。



●プッシュラッチの調節 (扉付の場合)

必要に応じてプッシュラッチ先端を前後させてください。



●施工後の確認

●キャビネットの確認

キャビネットの固定ねじが十分に締まっているか、ゆるみがないか確認してください。

●扉の確認 (扉付・ミラーキャビネットの場合)

- 蝶番のAねじ、Cねじが確実に締められていることを確認してください。
- 蝶番が確実に台座にロックされているか確認してください。